

知事と区市町村長との意見交換会(三宅村)

令和2年9月16日(水)

15時20分～15時40分

○行政部長 それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事から一言、お願いいたします。

○知事 櫻田村長、こんにちは。お変わりございませんでしょうか。

○三宅村長 よろしく申し上げます。

○知事 今日はよろしく申し上げます。まずはやはりこのコロナウイルス対策でありますけれども、日々2,425名の村民の皆さんに対しての健康の維持等々、御苦労されているかと思えます。感染の拡大防止、そして社会経済活動の両立を図るということで、ウィズコロナの社会を、どうやって生きていくかということが問われているかと思えます。

この難局の中で、東京都としまして都政の構造改革を強力に進めていきたい。そしてその改革をテコとして新しい日常、そして最近はサステナブル・リカバリーと言うんですけども、持続的に回復していくという意味ですけども、そういった視点から長期戦略の策定を進めているところであります。

コロナ対策は、これはもう国難とも言えるものですが、皆さんと連携しながらオール東京で対応していかなければならないと考えております。

今日は村長自ら御意見、そして御要望、直接お伺いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

○行政部長 それでは櫻田村長、御発言申し上げます。

○三宅村長 三宅村長の櫻田です。三宅村ではこれまでのところ、新型コロナウイルス感染症、陽性者は発生していません。これも東京都の御支援と迅速な対応の賜物と、重ねて感謝申し上げます。

それでは長期戦略及び新型コロナウイルス感染症拡大防止等における三宅村の課題と要望について、3点ほどお話しさせていただきます。

一点目は新型コロナウイルス感染症対策における東京都と三宅村との連携強化です。現在、三宅村では新型コロナウイルス感染症を乗り越えるために、新しい日常の徹底に向けて、島民一丸となり感染の防止に取り組んでいるところです。

しかしながら感染症は全国的に拡大し、友島での発生状況を鑑みますと、今後三宅村においても感染者の発生は避けられないものと認識しております。万が一島内で感染者が発生した場合の備えは出来ておりますが、感染防止に向けた島しょ町村の共通課題に対して、島しょ保健所を中心により一層連携を密にして参りたいと考えております。

また、村内で感染者が発生した場合、村内の医療機関は一か所しかないため、医療従事者の感染率も高まります。医療従事者の感染はただちに村内医療の崩壊につながることから、既に島しょ町村会でお願しているところですが、医療従事者が感染した際のバック

アップ体制をよろしくお願いいたします。

感染者の受け入れについても、当村で実際に疑似者が発生した際、診療所、保健所、消防本部等、関係機関の連携により、ヘリ搬送し速やかに都内病院へ入れていただき、ありがとうございました。しかし、更に都内で大量に発生した時の受け入れがなお懸念されますので、よろしくお願いいたします。

二点目はウィズコロナ、アフターコロナを見据えた観光振興です。三宅村の経済は観光産業を基幹産業としており、感染症の影響による観光客の減少が大きな打撃となり、村内事業者は疲弊しております。

村内の事業者は2000年の噴火災害からの影響で、既に多くの負担を背負っており、早期に直接的な支援を行わなければ立ち直れないほどの負担を負うことになり兼ねません。収入が減少した事業者への御支援をお願いします。

また、村内経済の回復のため、商品券の発行や実施を見送られたいろいろなイベントの開催等に対しましても、村内外の活気を取り戻すための御支援をお願いします。

更に減少した観光客数の回復に向けた取り組みとして、三宅島への渡航費及び宿泊費や観光振興事業へGo To トラベル等と合わせて都独自に支援していただけたらと思います。

三宅村の経済の活性化には観光客等の受け入れが必要不可欠ですが、一方で感染症を村内に招き入れることに繋がり兼ねません。観光客等の渡航支援と併せて、村内の感染防止徹底のため、水際で食い止められるような何かよい方法につきましても御検討をお願いします。

三点目は三宅村における地域の課題です。昨年9月の意見交換の際に申しあげました課題の現状についてですが、公営宿泊施設の整備、オリンピックレガシーを活用したスポーツ公園の整備は、東京都の御支援により実施に向け着実に検討、整備を進めているところです。

キャンプ場整備につきましては、現在は東京都の園地を活用したキャンプ場について整備されつつありますが、新たな今崎地区の温泉施設と隣接した「都営キャンプ場の整備」につきましても、実現に向け現地調査等、更なる御支援をお願いいたします。

観光客数の増加と村内経済の活性化を図るためには、アフターコロナに向けた基盤整備をすることが重要であると考えております。東京都におかれましては、三宅島島内での公共事業である「伊ヶ谷避難路」や「客船待合所」、「空港ターミナル」等の早期整備を引き続き実施していただき、公共事業による村内の活性化が図れるよう、御支援をお願いします。

以上が三宅村の課題と要望でございます。これらの取組を通じて、三宅村はウィズコロナ時代に観光振興と感染症防止を両立させた、魅力的で新しい島の在り方を考え実行して参りますが、村単独で成し遂げられるものではございません。更なる東京都の御支援を重ねてお願いいたしまして、私からのお話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

申し遅れましたが、カシノナガキクイムシ被害につきましてはこの度御高配をいただ

き、ありがとうございました。以上です。

○行政部長 村長、どうもありがとうございました。途中、画像が乱れてしまって申し訳ございませんでした。それでは知事からお願いいたします。

○知事 村長、ありがとうございます。本当に御苦労様でございます。

まずコロナ対策ですが、三宅島の場合も医療機関が少ない、2,425人の村民の中で三宅村国民健康保険直営中央診療所、こちらが12床ということになっています。医療従事者が限られているという地域特性、村長から直接伺ったところでもあります。

その医療従事者が濃厚接触者になった場合はどうするんだということで、一時的にそうしますと医療機関、医療機能の維持が困難だという場合は、村と密接に連携しながら医療従事者の確保を支援して参ります。また、感染症の患者が発生した場合ですけれども、関係機関と連携しまして、患者さんの症状に応じた適切な医療機関への迅速な搬送を行って参ります。

それから観光振興ですが、三宅には私もエンデューロ、バイクのレースに伺わせていただいたわけでありまして、あれはすごいですね。火山の所をガーッと走り回るといっても勇壮なすごいレースでありますけれども、観光産業って言うと、三宅島にとっての大変重要な経済の柱になっているわけですが、こういう状況になるとそこが非常に厳しいというお話を直接伺いました。

島の魅力を国内外に発信をするということが一つと、それから「しまぼ通貨」の販売で誘客の支援をして参りましたが、これからも観光産業の振興、それから感染防止の両立に向けて支援をして参りたいと考えています。

それからやはりコロナ関係ですけど水際対策、これも島しょ地域の安心、安全に直接つながることですので、引き続き関係機関と連携しながら、島での、また島への感染拡大に努めて支援をして参ります。

キャンプ場については、使用再開を目指しているところです。そしてキャンプ場の整備を含めて、島の魅力向上につながるような利用の仕方。国とも連携をしまして、今御意見を伺いましたので検討を進めていきたいと考えております。

それから伊ヶ谷漁港、それから三宅の一周道路を結ぶ都道が現在ありますけれども、災害が続いたということで現在通行止めとなっておりますが、新たな都道が必要であるということは認識しております。事業化へ向けて取り組んでいるところであります。引き続き島民の皆さんの日常生活での安全な通行の確保、それから災害の時の確実な避難ルートの確保に努めて参ります。

それから島しょ地域では玄関口である港、空港の整備というのが重要であります。島民の皆さんの生活と産業を支える基盤づくりとして重要だということを改めて認識しております。これからも観光等、島の活性化に資するように船客待合所、それから空港ターミナルの早期整備に着実に取り組んでいきたいと、このように考えております。

今日は島の現場の声、実情を伺いました。長期戦略の策定の中で、今日のお声。そしてまた来年度予算編成において、今日の三宅村長、櫻田村長からの声を検討して取り組んで

いきたいと考えおります。

それから害虫駆除の話ですね。引き続き積極的に対応していきますので、これについてもお伝えをしていきたいと思っております。それに対してわざわざお礼いただきました。ありがとうございます。

○三宅村長 御協力いただき、ありがとうございます。

○行政部長 それでは櫻田村長、本日は御多用のところ、どうもありがとうございました。以上で意見交換を終了させていただきます。